

「警戒区域見直しにともなう檜葉町住民調査」ご協力のお願い

2012年8月

調査主体：大規模複合災害研究グループ・檜葉町
立教大学社会学部教授 関礼子（グループ代表）
尚絅学院大学講師 林雄亮

お問い合わせ電話番号：03-3985-4723（関礼子研究室）

東日本大震災でお亡くなりになった方々の冥福をお祈りするとともに、福島原発事故でふるさと檜葉町から引き離され、不自由な避難生活を続けていらっしゃる檜葉町のみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

この「警戒区域見直しにともなう檜葉町住民調査」は檜葉町のみなさまの被害状況や警戒区域見直しについての状況を把握するために、大規模複合災害研究グループが檜葉町と連携しておこなうものです。調査結果は、大規模複合災害研究グループが集計・分析し、みなさまのご意見を責任もって檜葉町に報告いたします。また、檜葉町が復旧・復興のための施策を国・県に要望する際に、その重要性を示す基礎資料として用います。

この調査は16歳から79歳までの檜葉町民の方3,000名を対象としております。1世帯に複数の調査票が届いていることもあります。これは、同じ世帯のなかでも、それぞれの方の年齢や性別、おかれている状況によって多様なご意見があることを前提にしているためです。そのため、世帯のご意見を代表するのではなく、ご自身の率直なご意見をお聞かせいただけますようお願いいたします。

大規模複合災害研究グループでは、昨年6月以来、檜葉町のみなさまから避難に関する状況などについてお話を聞かせていただいております。また、昨年実施しました調査にご協力いただいた方もいらっしゃるかと存じます。しかしながら、この調査は統計的な処理をして結果を公表いたしますので、できるだけ多くの方のご協力が必要です。たいへんお手数ではございますが、重ねてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この調査は匿名でおこなうため、調査票や返信用封筒にお名前やご住所を記入していただく必要はございません。お手数おかけいたしますが、回答いただきました調査票は、8月31日（金）までに、同封の返信用封筒（切手が貼付されております）に入れてご投函くださいますようお願い申し上げます。